

KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 133

Oct. 2025

奥河内音絵巻 2025

目次

Time Machine Biombo



大阪・関西万博 2025 シャインハットにて

- 大阪・関西 EXPO 2025
奥河内音絵巻 2025 ～日月山水タイムマシン～
- カメル高校生来訪
- カメル河内長野 Cookbook
- 多文化の部屋 ～ピースボート編～

- 世界とつながろう!
- 夏休み子ども絵画教室
- 英語 de クッキング
- インフォメーション
- グローバルカフェ (ミャンマーチャリティ)



大阪・関西万博 2025

2025 年 9 月 6 日（土）7 日（日）
関西万博 シャインハット

～奥河内音絵巻2025「日月山水タイムマシン」～



まだまだ残暑が厳しく残る 9 月、前日は台風による激しい風雨に見舞われた関西でしたが、台風一過の爽やかな青空が広がる夢洲の地で、壮大な音楽舞台「奥河内音絵巻 2025『日月山水タイムマシン』」が開催されました。会場は、2025 年日本国際博覧会の一角にあるゴールドに光り輝く帽子の形をした屋根が特徴の「Expo ホール "シャインハット"」。連日、多くの来場者で賑わう万博会場の中で上演されたこの公演は、地域の文化と世界の音楽が響き合う、まさに関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン - Designing Future Society for Our Lives - 」を体現するものでした。

世界中から最新技術や文化、未来の社会像が集結する関西万博。その熱気は日を追うごとに高まり、現在では入場も困難なほど。そんな中、河内長野市から発信されたこのステージにも沢山の観客が詰めかけました。

公演当日、会場前では河内長野市の日野地区獅子舞保存会が獅子舞を披露し、万博という国際的な舞台で、日本の伝統芸能が多くの来場者の目を引いていました。「満員御礼」の文字が掲げられたポスターに、予約制にもかかわらず開場の 2 時間前には炎天下のなか並ぶ観客の期待の高さがうかがえました。

この「奥河内音絵巻」は、2015 年に河内長野市のラブラリーホールで始まり、昨年 2024 年に 10 周年を迎えた舞台で、ミュージカルソー（のこぎり）奏者で作曲家のサキタハチメ氏がプロデューサーを務めています。天野山金剛寺に伝わる国宝「日月四季山水図（じつげつしきさんすいず）」の世界観にインスピレー

ションを受け、豊かな自然、歴史、人々の営みから着想を得て、音楽・ダンス・映像を融合させた独自の舞台芸術を創り上げ、多くの観客の心を惹きつけてきました。

本公演は太陽と春夏をテーマにした「SUN/ 春夏」と、月と秋冬をテーマにした「MOON/ 秋冬」のそれぞれ 45 分の 2 種類の公演が用意されており、初日 2 回、2 日目 3 回の全 5 回が上演されました。舞台には総勢 400 人を超える出演者が参加。子どもたちを含む参加者の情熱的な踊り、尺八など伝統芸能の響き、チェコ・ピルゼンフィルハーモニー管弦楽団によるクラシックの荘厳さ、さらにお坊さんたちによる声明^{しょうみょう}の声が、時に重なり合い、時に交錯しながら、観る者を“時空を超えた旅”へと誘いました。

会場の壁面全体がスクリーンとして活用され、世界中の子どもたちが描いた「日月山水」の風景が次々に映し出される演出は、次々と繰り上げられる舞台演出に鮮やかな色と色を加えていました。次々に変化する映像と音楽がシンクロし、太陽と月、四季の移ろいを表現された音響や照明も含めたダイナミックな舞台設計が、観客の五感を刺激しました。また、サキタ氏と交流のある西アフリカ・ブルキナファソ出身の音楽家ミロゴ・ベノワ氏の参加で、今回の舞台にアフリカ伝統音楽が加わりより一層パワフルな舞台になりました。

KIFA から場内の展示や案内のお手伝いにボランティアとして参加。終演後、出口に向かう観客たちの顔には、満足感に満ちた笑顔があふれており、「もう一度観たい」「感動した」そんな声が会場を包み、観客と出演者、地域と世界がつながる新しい形の舞台芸術の力を感じさせました。舞台背景に映し出された子どもたちの絵は、会場の両袖や廊下に掲示され、観客の目を最後まで楽しませていました。

奥河内の自然や文化から生まれたこの舞台が、万博で大きな拍手を浴び世界へ羽ばたく次のステップにつながっていくのではないのでしょうか。

姉妹都市 カーメルからのお客様

～カーメル高校の学生を迎えて～

清教学園は姉妹校であるカーメル市のカーメル高校と、1年おきに互いの街を訪問し合っており、今年はカーメルの学生が河内長野に来る年です。

■市長表敬訪問

7月14日(月)には、市役所を訪れ市長表敬訪問を行いました。市のマスコット、モックルくんも参加して学生たちの注目の的になりました。写真撮影タイムをとると、学生たちは次々とモックルくんとのセルフィーを撮り始めます。モックルが市のマスコットで森の木を表し、さらには豊かな自然を表していることなど西野修平市長から説明を受けました。続いて、議場に移動し市議会についての説明を聞きます。全員が議員席に座って、質問は議席のマイクを使ってします。河内長野の魅力を発信するために、どのようなことを行っているのかなど、なかなかするどい質問も飛び出しました。さらに、市役所のカーメルコーナーに行き、カーメル市のアート&デザイン地区のゲートを模した姉妹都市25周年記念モニュメントの前で写真撮影。



■KIFA デー

7月16日(水)は、市民交流センターで KIFA デーを行いました。学生たちは2つのグループに分かれ、交替で「巻き寿司づくり」と「書道アート」を体験しました。

巻き寿司はもと日本料理調理師の新井さんの指導で、食工房で始まります。巻き簾にのりと寿司飯を広げ、具を次々乗せてから巻き簾で巻いて形を整えていきます。きちんと巻くのは結構難しいです。最初に巻き寿司をしたグループは、小さな旗を作って自分で作った寿司に刺し、目印にします。時間に余裕があったので、最近発行されたばかりの「カーメル・河内長野クックブック」を事務局が紹介しました。3年前にカーメル市民のイーサン・マクアンドリュースさんが河内長野に来て約3ヶ月滞在し、色々取材をしてクックブックができたことなどを知ってもらうことができました。

「書道アート」は、今年(2025年)9月のカーメル国際アートフェスティバルに参加した書道家の京谷小百合さんが指導しました。「和」という文字を練習して、2つのアート作品に仕上げていきます。最後には大きな紙に、学生たちが自分で「和」の文字を螺旋状にたくさん書き、仕上げに京谷さんが大きな「和」を書き、みんなでコラボした大作もできました。



姉妹都市提携30周年を記念し、カーメルと河内長野の食文化を中心に書かれた「CARMEL KAWACHINAGANO COOKBOOK」(カーメル・河内長野クックブック)が発行され、挿絵を担当されたイラストレーターの網本武雄氏が読売新聞の取材を受けました。ライターのイーサン・マクアンドリュース氏は、当市に約3ヶ月間滞在し取材にあたりました。レシピだけでなく取材中に感じたことなど紀行文的に書かれていて、興味深い読み物にもなっています。読売新聞の取材では、網本氏は文章の内容が伝わりやすいように作画上で色々工夫したり苦労されたことなどを楽しく語られました。



クックブックの購入については、事務局までお問い合わせを。

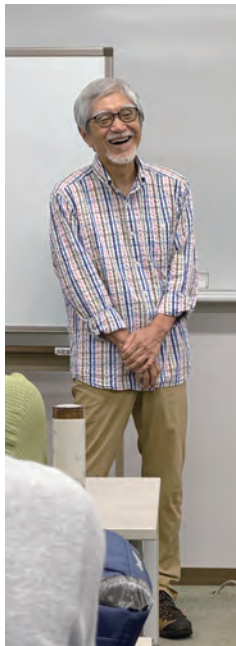


多文化の部屋

～ピースボート編～

写真と動画で綴る

「96日間地球一周クルーズ乗船記」



今回の多文化の部屋は、ゲストに阿倉薫さんを迎えてピースボート「世界一周の船旅」についてお話いただきました。阿倉さんが出発したのは 2024 年 12 月 11 日、神戸港から乗船し 2025 年 3 月 16 日まで 96 日間かけて南半球を進む船旅です。出港後、香港、シンガポールをへて、モーリシャスのポートルイス、南アフリカのケープタウン（喜望峰）、ブラジルやアルゼンチン、ウルグアイ、モアイ像で有名なイースター島、そして南極まで様々な国を訪れていらっしゃいました。用意していただいた資料の寄港地の地図を数えたところ 20 カ所もありました。

今回乗船した船は全長 261.31 メートル、乗客定員 1950 名、乗組員だけでも 900 名で、日本人だけでなく、香港やシンガポールから色々な国の人たちが乗船し、年齢層はやや高め

ですが若年層も 100~200 名程度参加しており、年末年始を挟む航行だったからか着物を着て成人を祝っている人たちも居たそうです。

食事や船内の様子などについても詳しくお話いただき、各寄港地の動画や写真をふまながら現地の見所や船での過ごし方を説明してもらいました。

食事は全てついており、バイキングやコース形式と多種多様な料理が用意されて飽きることはなかったとのこと。また毎日、船内新聞が配られるそうで実物を見せていただきました。船内

で行われるレクリエーションがテレビの番組表のように何時から何時までどこでどんなことをしているか

載っており、船主催のお能やアフリカ楽器などのサークル活動などが沢山用意されているのに加え、個人でも自分の趣味や特技をいかしてギターやオカリナ、折り紙など様々な集りが毎日どこかで行われていました。サークル活動の中には船内に 2 か所ある大きなホールで発表会などのイベントも開催されており、ゆっくり過ごすかアクティブに過ごすか、長旅なので船内で様々な楽しみ方が出来るように工夫されていました。

各国での寄港時間はおよそ 1 日で、港に朝入港し入国審査をしたのち上陸、既定の観光地をまわるオプションツアーや、巡回バス、個人でタクシーなど移動手段を確保して各々楽しむことができるそうです。

今回多文化の部屋には全席が埋まるくらいの沢山のご参加をいただき、その中にはすでにピースボートでの世界一周を体験された方や、これから船に乗って旅にでる方もいらっしゃいました。質問の時間では、持って行った方が良いものは何ですか？の問いに、船内にはお医者様が乗船していますが有料とのことで、やはり常備薬などはしっかり日本で用意しておいた方がいいとのアドバイスや、船酔いはしましたか？の質問には大きい船なので阿倉さんご自身は船酔いをしなかったが乗り物酔いしやすい方は酔い止めなどが必要ですねと、丁寧に答えていただきました。

やはり 96 日間を 1 時間半という短い時間では語りつくせず、最後は駆け足になりましたが、船旅や世界一周に出たくなる、まだ見ぬ他国の文化に触れた時間になったのではないかと思います。



KIFA 柴理梨亜会長と阿倉氏



2025 年 7 月 22 日 (火)

市民交流センター イベントホール

世界とつながろう！

「世界とつながろう!」は、子ども達が KIFA 特製のパスポートを手に、6 か国のブースを回る疑似海外旅行で夏休みの恒例行事になっています。やっと梅雨も明けて、あいにくの猛暑日でしたが、1 年生から 5 年生の 23 名の小学生の皆さんが参加してくれました。

訪問する国と、現地ガイドは次のとおりです。前本ベネディクトさん（ベルギー）、福井ユリアさん（ウクライナ）、グエン・チイ・フエン・チャンさん（ベトナム）、フィル・ネルソンさん（アメリカ）、志村 レアンドロさん（ブラジル）、鉄本 ネリアさん（フィリピン）。

猛暑もあって、会場は熱気ムンムン。子どもたちは渡された KIFA 特製の写真付きの赤い表紙のパスポートに夢中で自分の名前をサインします。暑さでお疲れ気味のお母さん方は、楽しそうな子供たちを横目で見ながら壁の花に。



子どもたちは 6 つのグループに分かれ、空港のアナウンスが流れると各国のブースを訪問します。グループのリーダーは、ブルーの KIFA の T シャツを着た長野高校と清教学園高校の ESS の皆さんです。フライト時間 0 分、各国 8 分のショートスティですが、皆さん楽しそう。各国の伝統文化や学校では習わない面白い話を聞き、それぞれの国の言葉で、「こんにちは」、「ありがとう」、「さようなら」を覚えてもらいました。会場には、フィリピンの打楽器の音が流れ、ベトナムの蹴鞠に似た遊びも楽しみました。子どもたちの笑い声が聞こえてくる頃、違法入国者が。壁際で見守っていたママたちが飛び入り参加してシャッター音が響きます。もちろん逮捕者は出ませんでした。入国スタンプ代わりに各国のシールをパスポートに貼り付けて、楽しい小旅行が終わりました。

そのあとは、フィリピンのネリアさん、アメリカのフィルさんによるクイズタイムです。習ったばかりの各国の挨拶についてのクイズ。みんな元気よく手を上げて答えてくれました。最後に全員で記念撮影して夏休みの楽しい一日を過ごしました。

見ていて感じたのは子どもたちの適応能力がすごいということです。現地ガイドを前にして、最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちも、あっという間にワイワイガヤガヤ。小さい時から色々な外国の人たちと接することによって、変な優越感や劣等感を持つことなしに、人間と人間として接することができるようになります。このイベントがそういう子どもたちの育成の一助になれば、うれしい限りです。

2025 年 8 月 2 日 (火)

市民交流センター 創作工房

夏休み子ども絵画教室

～アートでつながろう、姉妹都市の KIDS～

真夏の一日、今年も夏休み子ども絵画教室が開かれました。河内長野市の姉妹都市、アメリカインディアナ州にあるカーメル市に送る絵を制作するため、毎年開かれています。この絵画交換は、30 年以上続いていて、今年もすでにカーメル市から届いた作品が会場の創作工房に展示されていました。

はじめに、参加した子どもたちにカーメル市を紹介するスライドショーがありました。カーメル市についてのクイズ形式で進められていきます。途中からカーメルで撮影された写真についての「これはなんでしょう?」のクイズがありましたが、そのひとつに、上と下に飲み口のついた水飲み場がありました。上は人間用、下はペット用です。これを見た男の子が、「えー、カーメルって優しい。カーメルに行ってみよう」と感想を漏らしていました。「百聞は一見にしかず」ぜひ将来、カーメルに行って、その文化や人々の生活に触れてほしいと思いました。

今年の絵画教室は「何がでるのかな?」というテーマで、ランドセルの中から出てくる思い出、夢、欲しいもの、未来のことなどを描きました。最初に、折り紙で作ったランドセルをもらって絵の中のどこに置くか決めます。次にその中から出てくるものを、お花や食べ物など色々想像して描きました。虫が好きな子はクワガタやカブトムシをいっぱい描いていましたが、実際に出てきた

ら大変そう。毎年、絵画のご指導をいただいているアートコミュニティの船本先生ご夫妻の「ここはもっと描いて」「もっと明るい色を使ってみよう」などの助言で、子どもたちの作品はどんどん完成に近づいて行きます。最後には、全員が先生に OK をもらって、誇らしげです。

作品はカーメル市に送られ、9 月の「カーメル国際アートフェスティバル」の姉妹都市テントで展示され、ギネスブック公認の「世界一小さい子ども美術館」でも展示されます。また、河内長野市でも、市民交流センターと市役所で「姉妹都市子ども絵画展」として、カーメルからの作品とともに市民の皆さんに見ていただきました。両国の子どもたちの感性に触れ、お互いの文化を理解する一助になることを願っています。



2025 年 8 月 16 日 (土)
市民交流センター 食工房



英語 de クッキング

～パンケーキを作ろう～



河内長野市の「夏休み子ども体験教室」のひとつ、「英語 de クッキング」を KIFA が担当しました。講師にはアメリカ出身のライアン藤井先生を迎えました。参加するのは市内の小学生 20 名、みんなエプロンやバンダナを着けて準備万端。

最初に冒険、「英語 de ショッピング」に挑戦します。「できるかな? Yes, we can!」大きな声で叫んだ後、全員がライアン先生のあとについて、4 階の食工房から 1 階で開催中のグローバル・カフェ フィリピン編を目指して、階段を行進して降りていきます。カフェでジュースを買いますが、「Can I have peach juice?」「Apple, please.」など、英語を使って頑張っていました。



グループごとにジュースを持って無事に食工房に帰ると、パンケーキ作りに取り掛かります。ライアン先生の明るく元気な声に続いて、調理に使うものの名前を英語で言っていきます。「whisk」「ウィスク!」「spatula」「スパチュラ!」「flour」「フラワー!」など、部屋いっぱいの子

もたちの元気な声が響きます。作るときの指示も英語です。「Whisk five times, one, two, three, four, five!」(5 回かき混ぜて、1, 2, 3, 4, 5!)「We did it! (やったー!)」すべての材料をミックスした後ホットプレートで焼いていきます。できた子から、クリームやチョコレートシロップ、メープルシロップ、フルーツなどでデコレーション。シンプルなものからまるでケーキのようなものまで色々なバリエーション。自分で作ったパンケーキの味は格別。でも食べきれずに、会場で見守っていたお母さんやお父さんに食べるのを手伝ってもらった子もいました。

夏休みの一日、英語を使って楽しくクッキングできました。また、お家でも作ってみてね。



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
10月	Oct	5・12・19・26	7・14・21・28	2・9・16・23
11月	Nov	2・9・16・30	4・11・18・25	6・13・20・27
12月	Dec	7・14・21	2・9・16	4・11・18

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~15:45

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00~11:30

市民交流センター (KICCS) 3階

木曜日 Thursdays 18:00~19:30

ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラブ スケジュール

○英語フリートーキング 予定講師

10月 Sebastian Valencia (チリ)

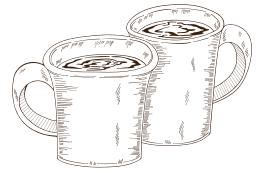
11月 Adarshyu Sharma (インド)

12月 Jeff Jones (アメリカ)

コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (中級)	中国語 (初級)
時間	14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30
開講日	10月	11	14・28	7・21	3・17
	11月	8	11・25	4・18	7・21
	12月	13	9・23	2・16	5・19

■世界ごった煮フェス2025

グローバルな時代こそ、
ローカルな国際交流を！！



世界各地の食文化、生活小物雑貨、ステージパフォーマンス、各種展示、活動紹介など、キックス全館に繰り広げます。ワークショップや体験コーナーもあります。秋の一日、お好みのドリンクと世界のスナックを楽しみながら、グローバルなダンスや音楽を満喫しましょう！

と き：11月16日(日)
ところ：市民交流センター

ステージ Performance:

和太鼓、フラメンコ、インド舞踊、中国獅子舞、ハワイアン・フラ、ゴスペル、ダンス、ペルー音楽、ウクレレ

ワークショップ Workshops:

カワチナガノ♥推し♥きんちゃく、モダンしめ縄、X' マスリース、消しゴムはんこ、和太鼓、木工クラフト、KIFA 缶バッジ、バルーンアート、マクラメ etc.

ブース Booths :

世界のフード：中国、ベトナム、フィリピン、ペルー、タイ、オーストラリア、インドネシア、ベルギー、カナダ、世界の珈琲、etc.

展示 Exhibits:

- ・世界のみんなにこんにちは！(3F)
- ・世界の絵本読み聞かせ(図書館)
- ・日本語サロン紹介・語学クラブ紹介(4F)
- ・トビタテ！留学

■Global Café スケジュール

10月17日(金),18日(土) オーストラリア編
10月31日(金),11月1日(土) 世界の珈琲編
11月28日(金),29日(土) 中国茶編
12月13日(土) カンボジア編

★開店時間は原則11AM~3PM

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

■国際料理教室 ～ベルギー編～



クリスマスはベルギー人にとって家族の愛を育む大切な時です。どんな料理を囲むのでしょうか。

講師：前本 ベネディクト さん

と き：2025年12月20日(土) 10:00~13:00

ところ：市民交流センター 食工房

参加費：会員1,000円、一般1,500円

持ち物：エプロン、三角巾、ふきん、筆記具、持ち帰り容器

定 員：先着15名

申込み：12月2日(火)から電話・メールで受付

特派員だより(USA)

テスラ FSD v13

こんにちは！KUMI です。今回は、カリフォルニアで体験したTeslaの自動運転(FSD v13)をレポートします。日本ではまだ珍しいですが、カリフォルニアではトヨタやホンダなどと同様、Teslaはたくさん走っています。FSD v13では、目的地をセットすると、発進から到着までAIが全部やってくれるんです！角を曲がったり、信号で止まったり…ドライバーは席に座って見ているだけ。まるで遊園地のアトラクションに乗ってる感覚でした。未来を感じる体験、興味がある方はぜひチェックしてみてください♪
(丁子ふくみ@ロサンゼルス)



※河内長野市在住の外国籍を有する市民数 1,194人(2025年8月末現在)

コース		スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)	タイ語 (初級)
時間		19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30	19:00~20:30
開講日	10月	3・17	15・22	15・22	15・22	3・17
	11月	7・21	5・12	5・12	5・12	7・21
	12月	5・19	10・24	10・24	10・24	5・19

～ミャンマー大地震
チャリティー人道支援編～

ミャンマーカレー

[illegible]

ISSHIF